

沿岸さば漁況予報（速報）

～ 2020年の相模湾～東京湾のマサバ漁況について ～

■ 2020年漁期の見込み

（1）来遊量と漁獲量

前年を上回り、平年を下回る。

（2）魚体

尾叉長 31～33cm（体重 340～440g）を主体に漁獲される。



■ 予測の根拠

（1）来遊量と漁獲量

今回の速報では、①本年6月の伊豆大島周辺の塩分のデータ、②本年4、5月の三崎定置網主要3ヶ統のマサバ漁獲量を用いて解析を行いました。その結果、本年のさば釣り漁船1日1隻あたりの漁獲量は、前年を上回り^{※1}、平年を下回る^{※1}と予測しました（8月には③東京湾の水温のデータを加えて予測精度を高めた「確定報」を発行する予定です）。

^{※1} 漁獲量で前年(平年)比20%以上増は「上回る」、±20%の範囲内は「並」、20%以上減は「下回る」と表記し、過去20年間（2000～2019年）の平均を「平年」としています。

（2）魚体

3～6月に伊豆諸島周辺で産卵を行ったマサバの一部は相模湾～東京湾に来遊し、5月以降に本県沿岸の定置網や一本釣り等で漁獲されます。1～3月に県漁業調査指導船「江の島丸」が伊豆諸島周辺で行った調査によると、尾叉長31～33cm（体重340～440g）を主体に漁獲されたことから、今シーズンはこのサイズのマサバが多く来遊する見込みです。

神奈川県水産技術センター

〒238-0237 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

電話 046-882-2314 ファックス 046-881-7903

公式ウェブサイト <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>